

1. 計画の基本的事項

1 計画の背景・目的

第1次産業である農水産業は、私たちの健康で充実した生活の基礎となる良質な食料等を安定的に供給するとともに、生産から消費までの各段階において多様な産業と結び付き、地域経済の中で重要な役割を担っています。

また、農水産業は、産業的な役割だけでなく、国土の保全や水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの「多面的機能」の発揮を通じて私たちの生活を豊かなものにしてきており、さらには、農地や漁場、農水産業関係施設の一部は地域の防災・減災にも寄与しています。

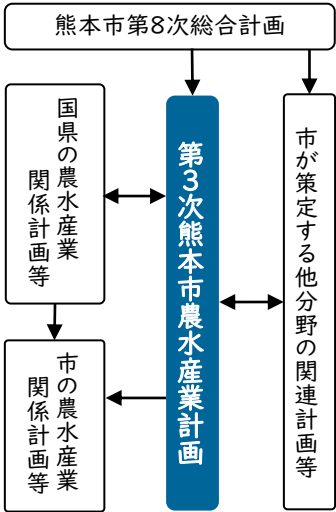
本市にとって重要な農水産業の振興を図るため、農水産業を取り巻く状況を踏まえつつ、農水産業振興施策の方向性ととともに具体的な取組を明確にし、施策の着実かつ効果的な実施につなげていきます。

2 計画の位置づけ

熊本市第8次総合計画の理念や目標の実現に向けた【分野別計画】として策定し、国県の農水産業関係の各種計画とともに本市が策定する関連計画等との連携を図ります。

3 第2次計画の振り返り

- ▶ 全国屈指の園芸産地として、全国上位の農業産出額や農業経営体数、県下一の認定農業者数を誇る。
- ▶ 農水産業の産出額及び販売農家1戸あたりの出荷額等が増加。
- ▶ 今後、SDGsの理念の社会的浸透、国が推進する「みどりの食料システム戦略」、改正「食料・農業・農村基本法」を踏まえつつ、特に次の事項についての対応が必要との認識。
  - ・農業における生産性向上と持続性の両立（良質な農産物の安定生産、環境負荷低減に向けた取組の充実、広域化する鳥獣被害の対策強化など）
  - ・地球温暖化等に対応したノリ養殖業や漁業資源の回復に向けた取組
  - ・少子高齢化を背景に農漁業従事者が減少し、高齢化する中での、認定農業者等の継続的な育成・確保、多様な担い手の確保
  - ・災害や環境変化にも対応した生産基盤の着実な整備と適切な保全
  - ・本市農水産物のブランド化や販路開拓・拡大、農水産業への理解の醸成に向けた農水産業・農水産物の情報発信や交流促進、地産地消の充実



4 計画期間 令和6年度（2024年度）から令和13年度（2031年度）までの8年間とします。

2. 計画の理念

1 将来方向

活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興

2 施策の目標

目標1 競争力の高い農水産業の振興

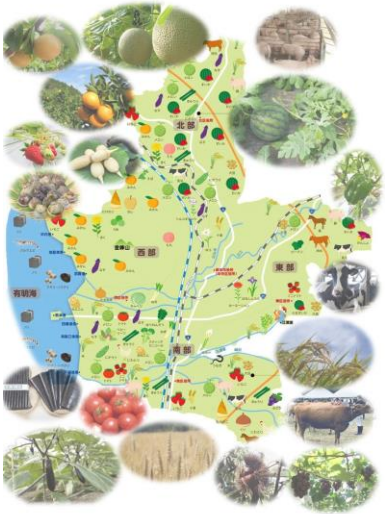
〔ポイント〕 スマート農業の取組の拡大、有害鳥獣対策、環境の変化に対応したノリ養殖業の推進、漁業資源の回復

目標2 しなやかで強い経営基盤の確立

〔ポイント〕 多様な担い手の育成・確保、農地の集積・集約

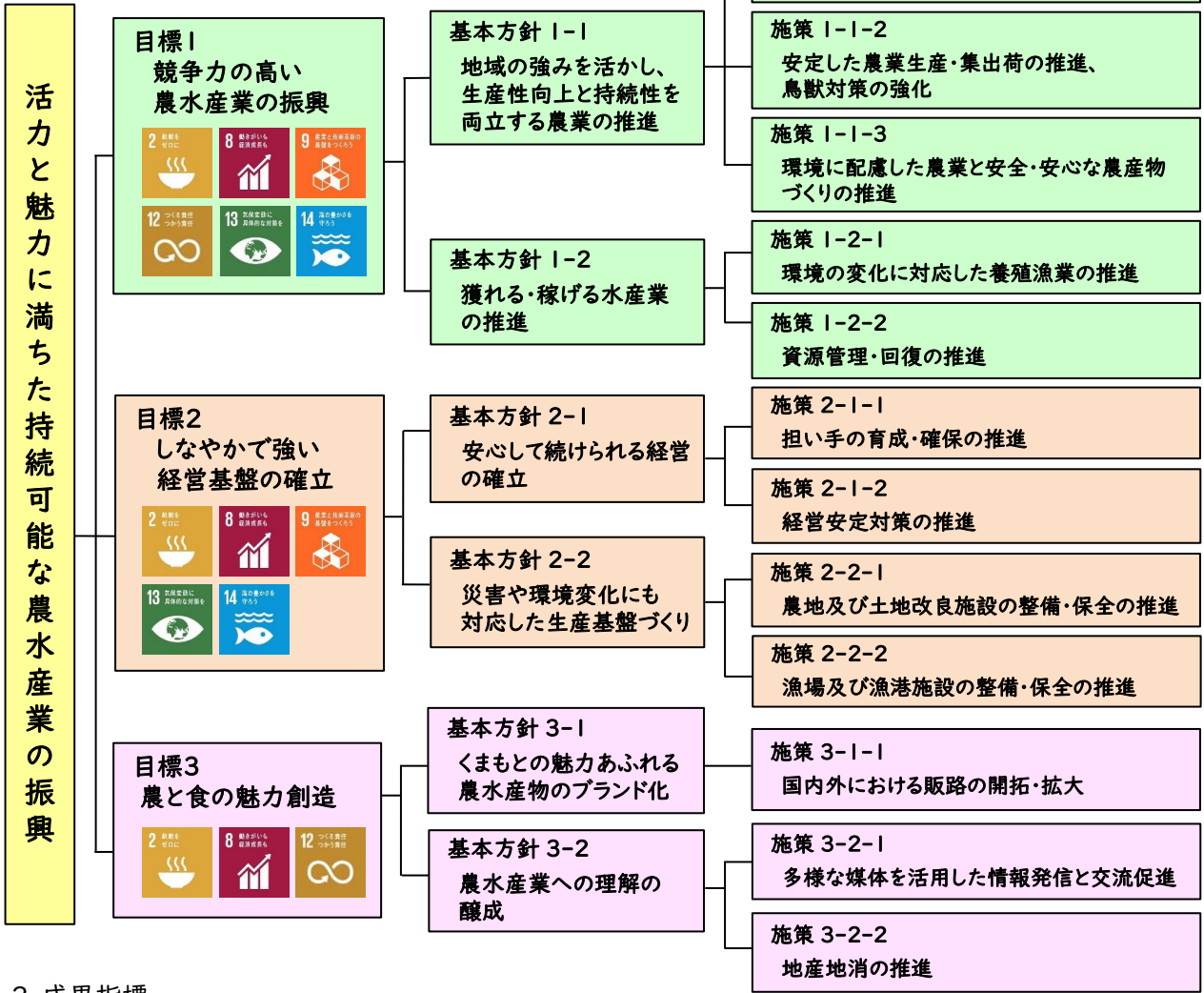
目標3 農と食の魅力創造

〔ポイント〕 生産者による価格設定の自由度が高い販路の開拓、輸出促進、SNSなどを活用した情報発信力の強化



3. 施策体系、成果指標

1 施策体系



2 成果指標

計画の達成状況及び進捗状況を測るため、次の成果指標を設定します。

| 成果指標〔単位〕                          |                 | 現状値<br>（R5年度） | 目標値<br>（R9年度）  | 目標値<br>（R13年度） |
|-----------------------------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|
| 農業産出額（暦年）〔億円〕                     |                 | 460           | 465            | 470            |
| 漁業産出額（暦年）〔億円〕                     |                 | 75            | 76             | 77             |
| 認定農業者数の<br>減少の抑制                  | 抑制率〔%〕          | —             | 推計値より<br>10%抑制 | 推計値より<br>10%抑制 |
|                                   | 認定農業者数<br>〔経営体〕 | 1,460         | 1,395以上        | 1,330以上        |
| 熊本市の農水産物が好き、応援<br>したいと感じる市民の割合〔%〕 |                 | 95.1          | 98.0           | 100            |

## 4. 施策内容（主な課題と取組）

### 1 競争力の高い農水産業の振興

#### ・ 良質な農産物の生産振興と生産性向上等の推進（施策1-1-1）

生産技術の向上／優良品種や生産性向上につながる機械・施設の導入 など

#### ・ スマート農業の取組の拡大（施策1-1-1）

スマート農業の技術・機械の導入／スマート農業の普及拡大につながる情報の収集と周知 など

#### ・ 気象災害、気候変動、病虫害等への対策（施策1-1-2）

台風などの気象災害に強い生産施設の導入／病虫害対策／耐暑性品種の導入 など

#### ・ 鳥獣対策の強化（施策1-1-2）

鳥獣を集落に寄せ付けない環境整備／侵入防止柵の整備／捕獲体制の強化 など

#### ・ 環境負荷低減に資する生産方式等の推進（施策1-1-3）

化学合成農薬・化学肥料の使用低減／良質な堆肥を用いた土づくり／みどり認定の推進 など

#### ・ 獲れる・稼げる水産業の推進（施策1-2-1, 1-2-2）

温暖化などの環境変動へ対応したノリ養殖／アサリなどの漁業資源の回復 など



全国区の農産物を多数擁する園芸産地のトップランナーとして、生産性や品質の向上に挑戦し続けます！



ICTやAI技術を活用し、生産施設の自動制御など、スマート化を進めます。



熊本県のノリの生産量は全国第3位☆高水温をのり切るノリ養殖を目指します。

### 2 しなやかで強い経営基盤の確立

#### ・ 担い手の育成・確保と経営力向上（施策2-1-1）

新規就業者や農漁業後継者、認定農業者等の育成・確保／多様な人材の確保・定着／地域コミュニティの維持・活性化／「くまもと農業経営相談所」等の利用推進／女性農業者の経営参画と活躍 など

#### ・ 農業経営の円滑な継承（施策2-1-1）

親子継承や第三者継承など、経営体ごとの事情に応じた伴走型の支援 など

#### ・ 農地の集積・集約化と有効利用（施策2-1-2, 2-2-1）

「地域計画」等に基づく、将来を見据えた農地の集積・集約化／農業と他産業との両立を目指した土地利用調整 など

#### ・ 農地や漁場、関係施設等の整備・保全（施策2-2-1, 2-2-2）

農地や漁場の整備・保全／排水機場やため池、漁港施設などの関係施設の整備・維持管理 など



元三排水機場・農地だけでなく、住宅地の浸水も防止しています。

## 3 農と食の魅力創造

#### ・ 国内外における販路の開拓・拡大（施策3-1-1）

合理的な価格形成を目指した大消費地での効果的なプロモーションや多様な販売形態の推進／台湾や米国等に対するマーケットインの手法による輸出拡大 など

#### ・ 農水産業への理解の醸成（施策3-2-1, 3-2-2）

各種イベントの開催／多様な視点・媒体を活用した効果的な情報発信／食を通じた魅力発信／農産物直売所の活性化／小学校での食育活動 など



熊本市唯一の道の駅「すいかの里 植木」年間利用者は27万人を超えます。



飲食店等と連携し、食を通して熊本の魅力を発信します。



小学校での食育活動：食や食文化も含めて、農水産業について幅広い理解を深めます。

## 5. 計画の推進体制

### 第3次熊本市農水産業計画

#### 熊本市農水産業計画推進委員会

※構成：学識経験者、生産者（団体）、消費者（団体）、流通団体、県 等

### 施策の実現に向けた取組

#### 農漁業者等

#### 計画 (P) Plan

#### 改善 (A) Action

#### 実施 (D) Do

#### 評価 (C) Check

#### 情報共有

#### 支援

#### 局内検討会議

#### 庁内他部局

#### 農水産業関係会議等

※熊本地域農業振興県・市連携会議、関係者との意見交換会 等

#### 農水産業関係団体 （農協、漁協等）

#### 国

#### 県

#### 市

#### 連携中枢都市圏関係市町村



経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的発展を目指します。



各施策目標に対応した取組を紹介しています